



▲ おとぎりそう  
(おとぎりそう科)

葉は対生し、葉面には多くの黒点がある。花は黄色で花弁は5枚ある。薬草としてよく知られている。

花期 6~8月

草たけ 30~70cm

生育地 草原、田のあぜ

スイバより大型で緑色の小花がたくさんつき長い穂となる。

花期 6~8月

草たけ 50~100cm

生育地 道ばた、荒地、畑、田の溝

※秘密を弟が他人にもらしたので兄が怒り弟を切ったので、この名がつけられたという。

○鷹の傷をなおすために使用していた秘伝の傷の特効薬である。オトギリソウの汁の※



▲ ぎしぎし(たで科)



▼ おかとらのお(さくらそう科)

葉は互生し、茎の先に、径8~10mm位の白い花がたくさんつき、虎の尾の形に似る。

花期 6~8月

草たけ 50~100cm

生育地 日あたりのよい山野、道ばた



夏